

第19門類
第42項
第6類

741029

文書課 長(菊池)

大正八年十二月十日 接收

64

淨書 加校 正原

大正八年十一月十一日起草
大正八年十一月十二日附

送第 一三二 號

主任

主管通商局長

大正八年十一月拾貳日記錄

通商局

神戸商業会議所宛

北京上海の於て高説の要を
大正八年十一月拾貳日記録第二部接獲

本件之要に密月二十九日附貴位より申越し越了表

致佐 右の概要を記し通し之有之候条右様申了知相成

事務 省

MP 3.3.8.8 4181

3-0648

02 16

741030

度此段及申回答也

記

一、北京に於て日本商子取引の近時於日運動の鎮靜ト共ニ
 日本雜貨類ノ賣行等頗ル良好トナリ又東亞煙草ノ如キ一時
 賣行例年^比三分^一ニ減シタルモノ三分^一ニニ^ニ戻リ返シ仁丹ノ賣
 高又平年^比復シ日本郵便局扱ノ輸入^品も漸次増加シ^タ
 了

一、上海に於て日本商子賣買取引ハ一時強トト杜絶ノ状態

MT 3.3.8.5 4182

3-0648

0217

741031

4219
第11號

第

大正八年四月二日

東京市都立本郷町丁日蓮寺
東京市都立本郷町丁日蓮寺
東京市都立本郷町丁日蓮寺
東京市都立本郷町丁日蓮寺

臺灣銀行東京支店

油頭支店長

豊新

東京支店總支配人山成喬六殿

當地排日情況ノ件

當地ボイコット情況ハ不相變學生ノ宣傳ト比較的小事件ノ類發トニ依リ依然緩和ノ狀ヲ呈スルニ至ラス候處最近勃發セル下記電燈公司對學生團ノ紛争及其解決方法ニ依リ考察スルトキハ「ボイコット」主唱者タル學生團ノ勢力仲々侮リ難キモノ有之前途頗ル暗澹トシテ何時舊態ニ復スルヤ殆ント想像兼致候

今開明電燈公司ニ關スル出來事ノ御報告申上候ハン

第一、當地開明電燈公司カ日本石炭約貳千噸ヲ輸入セルヲ聞知セル全潮學生團ハ大ニ憤慨シ小學中學商業ノ各學生並ニ工業救國聯合會中國少年會員壹千名ハ隊ヲ組テ石炭貯藏場ニ入り該石炭ヲ搬出シ大形貨物船五隻ニ積載シ海中ニ投棄セリ然ルニ石炭搬出ノ際警

大正九年壹月拾七日記錄第二部接受

MT 3.3.8.5 4184

大正八年四月二日

東京市都立本郷町丁日蓮寺
東京市都立本郷町丁日蓮寺
東京市都立本郷町丁日蓮寺
東京市都立本郷町丁日蓮寺

察廳ヨリ軍人ヲ派シ抑制シタルヲ以テ彼等學生ハ警察廳前ニ集合シ代表者ヲ撰ミ警察署長ト謁見談議セルモ解決ヲ見ス遂ニ數百ノ學生ハ警察署内ニ進入シ警察ノ干涉ヲ理不盡トシ盛ニ論議シ更ニ石炭モ左ノ如キ條件ニテ解決セリ

狂鯨

其一、電燈公司ハ今後絶對ニ日本石炭ヲ輸入スルコトヲ得ス若シ再ヒ之ヲ犯スコトアラハ聯合會ノ規定ニヨリ處分シ容赦スルコトナシ

其二、電燈公司ハ新聞紙上ニ於テ謝罪公告ヲ爲スコト

其三、電燈公司ハ罰金五千元ヲ支拂フコト

右ニテ雙方異議ナク謝義謙、鄙惟一ノ兩名ヲ保證人トス電燈公司ノ如キ當地有數ノ大會社サヘ右ノ如ク屈辱的條件ニ餘議ナクセララルニ至リタルヲ以テ學生ノ鼻息益々盛ントナリ聯合會ノ擴張ト相成即チ

MT 3.3.8.5 4185

3-0648

0219

741032

第二學生聯合會ノ範圍擴張
從來當地ニ於ケル全潮學生聯合會ハ潮州府下各縣ノ聯合ヲ以テ組織セ
ラレ居タルカ近時梅縣學生聯合會及惠州甲子區學生聯合會モ本會ニ加
入シ從來ノ名義ヲ變更シ惠潮梅學生聯合會ト稱スル事トナレリ
右ノ如ク學生團ノ勢力益々盛トナリ日貨輸入ニ對スル監視制裁モ一層
嚴重ニ相成申候從來ハ便船毎ニ拾名位ニテ日本品輸入ノ有無ヲ檢シ居
タルカ近來ニ更ニ其數ヲ増シ二拾餘名トナシ船及稅關ニ至リ檢閱スル
管ニ御座候

小役審燈公司當局者ニ面會何カ故ニシカク屈辱ニ甘スルヤト相質シ候
處官廳側カ學生トノ交渉ニ手コスリ十分ナル取締リモ事實ニ於テ兼
出來サル様子ニテ官憲ノ後援頼ミナシトスレハ無謀ナル閑人學生共ヲ
相手トシテ騒キ居リシトノ果シナキヲ以テ五千元位ニテ濟ムコトナラ
ハ喜捨シテ煩累ヨリ離脱ノ賢ナルニ不如トノ事ニ於テ仲裁者出テ前記

MT 3.3.8.5 4186

ノ方法ニテケリヲ付ケタルナリト申居候處一面ニハ實際罰金ハ出サヌ
モ學生ノ面目ヲ立ツル爲メ表面學生ノ要求ニ應スルコト、セルナリト
ノ噂モ有之候
何レニシテモ學業ヲ放擲セル閑人學生共ノ運動止マサル間ハ「ホイコ
ット」ハ終熄致間敷吾等日本人トシテハ誠ニ憤慨ニ不堪處ニ候ヘ共官
憲ニ於テハ當地丈秋霜烈日的ニ學生ヲ取締ルコト出來サル事情有之ヲ
シク候ヘ者日支國際談判ノ結果支那政府自身主動的ニ内國秩序維持ヲ
計、來ラサル限リ當地方排日運動ノ終止スルコトナシト被存困タルモノ
ニ御座候處在留日本人ノ迷惑並ニ日本品取扱ノ支那商人ノ困難實ニ名
狀ス可カラス^同情ニ不堪候
右御報告迄得貴意候也

MT 3.3.8.5 4187



故

741033

郵受13311

大正八年十月十九日接受

雙通局

第二課

時事通報

第十六號

(大正八年十月十日)

南支時事

臺灣總督官房文書課

MT. 3.3.8.5

4188

3-0648

0221

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

741034

支那茶發展策

大正八年九月三日 上海發

右ニ就テ當地 Whiting Co. 事務所ニ半國
 向業者 Alex Campbell, Whiting,
 Mikuni Bussan Kaisha, Jardine Mathie-
 son, Wilson, Carter Mackay, McDowell,
 Robert Anderson, H. King, Swain 等
 代表者會合ニ支那茶發展策協議
 ノ結果同左記 King 氏草案多少修正
 ノ上 CTA ノ名ニテ少府ニ提議スルコトト
 相成申す

(訳文)

本委員會ハ今般支那政府カ支那茶ノ輸出
 税及釐金税ヲ撤廢セシコトヲ考慮シツツ
 アルコトヲ知リ支那茶ノ爲メ衷心喜ヒニ堪ヘス
 由來該茶税ナルモノハ支那茶カ外國茶ト市
 場ニ競争スルニ非テ非常ナル障礙ニシコトハ
 疑ヒナキ事ニモシテ一部支那茶ノ負担セシ
 輸出税及釐金税ハ凡哇茶ノ凡哇諸港
 沖没値段ニ比シ尚且ツ高價ナルモノアルヲ聞
 ク現今世界ニ於ケル製茶産額ハ著シク増
 加シ来リタルカ今之レヲ亦モハテ如シ

一八九〇年 一九一七年
 印發 一〇七〇一四九九三封發 三六〇、五三六八一封發

MP 3.3.3.3 4189

MT 3.3.3.3 4190

錫	四五、七九九、五一九	一九五、三三、五九二
錫	八〇、二三六、〇〇〇	
錫	八八、一一五、三〇〇	
計	三三五、二四四、九一二	七三七、七〇四、六〇二

右表ニ示スカ如ク廿八々年間ニ於テ世界ノ製錫
 産地取極數目ハ一一三%ノ増加ヲ示セルニ
 及シ支那産ノ取引ハ却テ五%ノ遞減ヲ
 見ルニ至リシカ之レ支那産錫業果ニ何等カ欠
 陥ノ存スルコトヲ立證スルモノタルヘシ殊ニ支那ハ
 錫ノ原産地ニシテ而モ世界産錫國ニ於テ
 最モ優良ナル製錫業ヲ産出スルコトハ世人

MT 3.3.3.5 4191

周知ノ事ニ至ルニ於テヤ
 支那産不採ノ原因多々アランモ先ツ其ノ
 一、釐金税及積換等ニ費用ヲ要スルヲ
 以テ製錫業價格ノ高價ナルコト
 二、新式製錫法ニヨラサルコト
 三、廣先手飯ヲ用却セルコト
 印度、錫嶺及他哇錫業組合ハ消費國ニ
 於テ各々其ノ製錫業ノ品質及真價ヲ不斷
 新聞雜誌ニ廣先テ消費者ノ注意ヲ惹
 クコトニ努メツ、又シテ消費者ハ亦此ニ就
 テ製錫業ヲ購入スルニ當リテ印度、錫嶺他
 哇錫ノ優良ナルコトヲ知リテ未ダ支那産ノ

MT 3.3.3.5 4192



質ニ就テハ何等知ル所ナレ
 商品ノ品質優良ニシテ價格亦如何ニ低廉
 ナリト雖者之レヲ民衆ノ前ニ提供シテ其
 真價ヲ知ラシムルニ非スハ一層々興味ヲ惹起
 スルコト至難ニシテ不良ナル商品ト雖モ一層
 先方法宜キヲ得ハ何等先手後手辨
 スルコトナキ優良品ニ比シテ劣行キ佳
 良ナルハ明白ナル事ニモナリトス
 實ニ販路擴張ノ真諦ニ存スルヲ以テ製
 業界ニ於テハ支那茶カ世界的一大優先
 業ヲ開始スルノ緊急事ナルコトヲ痛切ニ
 感シツツアルモノナリ
 世界ニ於ケル製茶ノ產額ハ其ノ消費量

MT 3.3.8.5 4193

ヲ超過シツアルヲ以テ支那茶カ今年迄市場
 駆馳セラルノ危險ナシトモス
 今ヤ經濟政策組合ニ於テハ製茶ノ需
 要ヲ喚起セシカ爲メニ優先業ノ開始ヲ在
 ラ合衆國ノ製茶業輸入業者ノ七割五
 分ハ印及、錫蘭、爪哇、スマトラ這支那
 ノ製茶者ノ同意アルニ於テハ各自其輸
 入業一封及ニ付キ五分ノ一仙ヲ出資スル
 旨議決セルカ印及及前記各產茶國ノ
 製茶者ハ之レニ同意スルヤ疑ヒナシ本項
 先運動ハ彼ノ柑摘栽培業者カ爾ヲ
 試ミシテ先運動方法ニ依ヒ企劃せんモ
 ニシテ柑摘業者ハ退去ニ於テ其売上數量

MT 3.3.8.5 4194

千二百萬噸ニ過キサリシモノヲ一躍千八百萬
 噸ノ需量ヲ喚起スルニ至リ
 而シテ糖葡萄輸入業者モ亦一九一四年一層
 先運動ヲ開始セルカ四年間ニ於テ十萬噸
 ノ消費量ノ増加スルヲ見ルニ至リ
 左衆國ニ於ケル一人者製糖消費ノ量ハ僅
 々一封夜ニ過キスニテ英國ニ於ケル七封夜加奈
 陸ニ於ケル四封夜ニ比シテ其消費量著シク
 甚キヲ次テ左衆國ニ於テハ一層先運動ヲ起
 スノ餘地充分ナルノミナラス現時ハ一層先運
 動開始ノ好機ナリト思料セラル
 世界ニ於ケル製糖消費量ノ増加スルニ伴
 ヒ支那茶モ亦其餘惠ヲ享存スルニ

MT 3.3.3.5 4195

至ルニシト居モ吾人ハ支那茶ノ需量ヲ喚起
 セント欲セハ須ク適切ナル一層先方法ニ依ラサル
 ヘカヲサルトコトヲ知ルモノニシテ之レヨウテ世人ハ漸次
 支那茶ノ真價ヲ認メ之レヲ需要スルニ至
 ルヘキハ疑ヒナカルニ
 栽培業者多ク直接資金ヲ徵集スルコト不
 可能ナルヲ以テ吾人ハ荒茶ノ茶税ノ撤廢ニ
 ラルル曉ニハ輸出第一擔ニ付テ五メースノ課
 税ヲナシ一年ノ終リニ之レヲ各國輸出業者
 間ニ按分ニテ分配シ各輸入國ニ於テ其輸
 入高ニ應ジテ支那茶ノ一層先ヲナサントス
 夫輸出業者ハ專負會より資金ノ供給
 ヲ仰キ政府ハ又仕拂ニ関スル帳簿ノ檢

MT 3.3.3.5 4196



査ヲナシ得ルコトヲ規定スヘシ
本委員會ハ半國ニ於ケル廣告費ニ對シテ
彼トシテ一般の製糖業宣傳ニ要スル費
用トシテ五分銀ヲ紐育糖業組合ニ交
付シ其殘額廿五仙ハ支那糖ノ廣告費
ニシテ投スルコトスヘシ

同一規模ノトニ競争ヲ開始セシトスル場合
ニハ其價格低降ナルモノ尤モ最モ需要
セラルハハ明カナル事ニ至ナルヲ以テ價格ヲ低
降ナラシムルコトモ亦大ニ考慮セサルヘカラス
從來支那糖ハ市場ヲ閉却セシレ何人モ
支那糖ノ販賣ヲ試ミントスル者ナク支那
糖ノ取扱ヲナス事ノ有利ナルヤ否ヤハ只
五

懸掛トシテ未決ノ修取殘サレ居ルニ過キ
サリキ

一担ヲ五ノイスノ預先費徴集ニ因シテハ何
等困難ヲ惹起スルノ虞ヒナカルヘクニ至ラ
シ格ヲ之レニ降スル費用ノ如キハ糖ヲ製糖業
ノ需要ヲ喚起増加スルニ至リ直ニ回收スル
ヲ得ヘシト信ス
又此債ノ向上ヲ計リ最新式製糖ニ則テ
ルヘカラス即チ支那糖ニ格テ栽培せん製糖業ハ
甚ク優良業トシテ之レヲ消糖者ニ供給セ
サルヘカラス現時ノ製糖法ニ就テハ吾人苦心
ニ堪ヘサルモノアリテ栽培法ニ對シテハ優良業
ノ改良刷新ヲ施スニ非スハ優良業

MT 3.3.8.5 4198

MT 3.3.8.5 4197



一、産出、到海、望、ムヘカラス

○支那茶輸出税撤廃

大正八年十月九日福州世後
支那茶ニハ從來毎担一兩ノ輸出税ヲ
課セラルル所ナリ然レテ今ハ福州世後
ヲ全然撤廢ノ事ニ決シ本月一日ヨリ
實行ノ旨世後表存之
考地手積出サレキモノハ毎封夜約銀一仙
方毎値ト相成、記、印、裡、取

○支那茶輸出税免除ノ件

大正八年十月十八日上海世後

支那茶ノ其後集、トシテ輸出税免除ノ
件多ク論議セラルル所ナリ然レテ今ハ
務會議ニ於テ議決セラルル九月二十三日國
ノ指令ヲ得十月十日ヨリ、今年間各種茶
ノ輸出税ヲ免除シ内地整理金税ハ輸出
茶ニ限リ五割ヲ減スル事ニ決定セラルル
處ニ應、十七日附ヲ次テ上海稅務司ヨリ此
旨公示有之及、此般印通知申上
因ニ從來茶輸出税ハ存、通、印、裡、取
紅茶及綠茶 每担 海關西 一兩〇〇
磚茶 〇兩六〇
小京磚茶 一兩二五
生茶 一兩〇〇

MT 3.3.8.8 4200

MT 3.3.8.8

4199

茶市
内地救軍金ハ産地ニ有リ不同ニ取得共七体
一兩乃至二兩見者ニ所産後

◎厦門情況

大正八年十月二十日發

厦門國民大會幹事ハ十月十九日警署
總長易云ノ先示ニ有リ表面解散セル為
貿易商ハ多少安堵セルモ彼等幹事部
十人團等ノ排日團體ハ尙暗ニ威嚇防害
ヲ持續シツアル人ノ知ル所ナルカ國民大會
務所アリシ竹仔街福靈藥房樓上於テ尙
新少大厦報出取ノ計畫中ニテ多分旧九月
發刊ノ豫定ナリ

◎漳州情況

十月二十四日發

漳州ニテ軍事密偵一名ヲ捕縛シ十月九日
死刑ニ處シ又石碼ニ於テ兵士ノ新俸増
領ノ為十月四日及同六日排長二名銃殺セ
レタリ

閩南援閩浙軍總司令呂公望ハ十月十一日
漳州著十三日駐漳州軍官ノ歡迎會ニ
同月十六日正午漳州各男(各團)ノ聯合
會ニ臨シ初五日十七日出發黃崗ニ向
司令ノ着漳州ト同日請國軍會办方聲
ノ參謀長林和瀾前財政次長殷汝霖
春ヨリ来リ旅長夏本署海軍次長魏
法等着漳州セリ和議破裂ニ對スル當

MT 3.3.8.5 4202

MT 3.3.8.5 4201

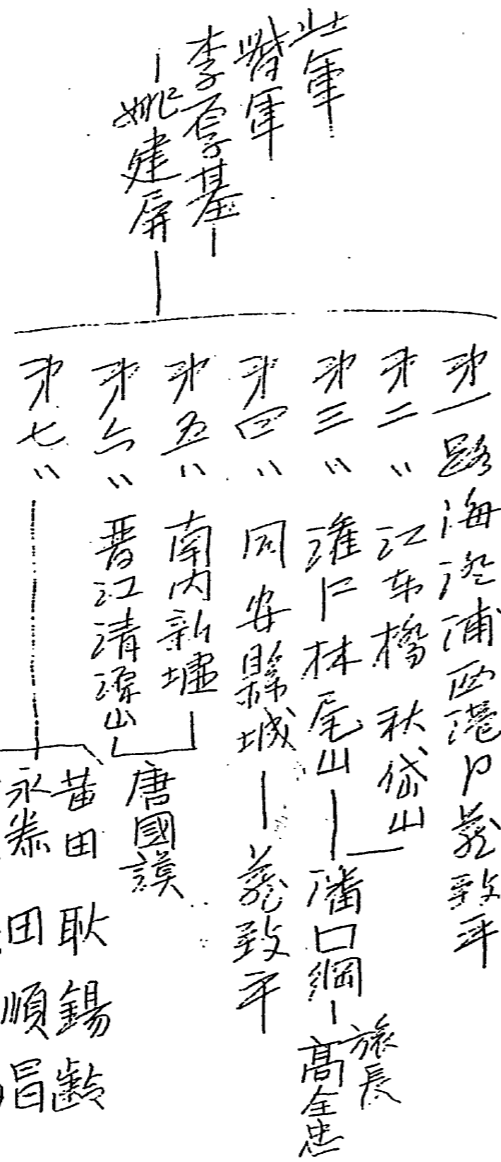
防備之要スル協議ヲナシカ爲ナリト
 津州方面ノ日債排斥運動ハ漸次鎮靜
 ニ向シツツアリシカ今般日債残存表ナルモ
 ノヲ作製シ参考ニ供シ尙數日一回宛小港
 方面ノ運送貨物ヲ検査スル事トナリ十月
 年六千四百元等ノ如シ

MT 3.3.8.5 4203

十二日以後ニ空施セリ是ニ突シテハ護法軍
 政務所援助ノ下ニ商人等ヲ壓迫シツツアル
 モノ、如シ

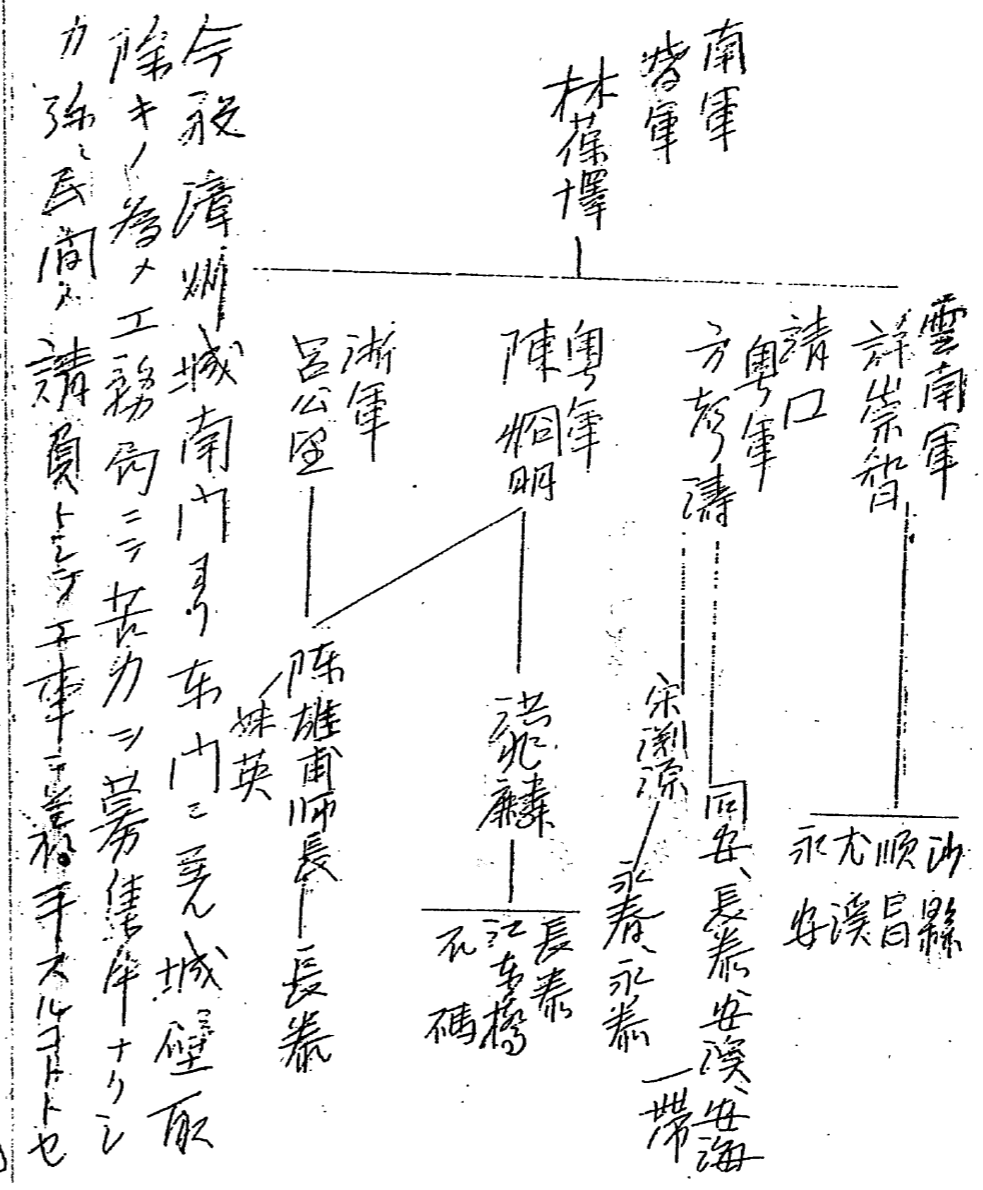
MT 3.3.8.5

南北兩軍現今配正並次ノ如シ



MT 3.3.8.5 4204

順昌 永崇 苗田 耿錫
 石佳 永順 順昌
 維維 永順 順昌
 嶽嶽 永順 順昌



今被漳州城南門より東門に至る城壁取
除キノ為メ工務局ニシテ苦力ヲ募集俾テナリシ
力強民商ノ請負トシテ工事ニ當テ手スルコトセ

◎ 廣東情況

大正八年十月二十五日以後

○ 大示威運動
十月二十日ハ孔誕祭ナルヲ以テ各異礫舎ノ
大示威運動アリ排日貨、救國等ノ意ヲ
偶ルニ飾物及旗ヲ掛シテ之ヲ全市ヲ
練歩セリ大新先施、真光公司等ノ前ヲ
集ル、抵制亡國公司保我山東聖地トシテ大
呼セリ

○ 國貨陳列所改良
昨日學生團ハ會議ヲ開キ現下ノ陳列國貨
陳列所ハ現ニ積極的行動ヲトリツツアルモ

MT 3.3.8.5 4206

MT 3.3.8.5 4205



學生ノ拾獲セル債物ハ真偽ノ區別甚ク困難ナルヲ以テ應ニ紛擾ヲ醸スコトアレハ現存ノ國債陳列所ノ組織ヲ変更シ各團ヨリ代表者二名ヲ選ヒ該所ノ幹事トナシ各團ノ向約ニ分任研究セシムコトヲ決議セリト

(十月廿七三行函報)

佛國留學ノ風潮

國匪賠償金ヲ交付シ教育ニ充テ用ニ俾用スルコトハ王正廷カ巴里ニ於テ交渉ニ列強カ既ニ許可方法ヲ審査スル所法國政府ハ既ニ許可ノ意アリト聞ク此ノ教育部教育費支辨ノ方法ヲ議定スト云ク所ニヨレハ佛國ノ鄉村教育ハ日本ニ比較

MT 3.3.8.5

4207

シ廉價トス而シテ工業ニ充テ用ニ充テ養成スルノ鄉村ハ都市ヨリモ適者ナリ故ニ多數ノ學生ヲ此ノ佛國ノ鄉村學校ニ留學セシムト又留學生分派ノ方針トシテ東三省山東省ハ日本ニ西陲、雲南、貴州ハ多ク佛國ニ長江各省ハ多ク英米ニ赴カシメ留學費無議定シ又留學生ハ中學校以上ノ學生ヨリ選ビ派送スト右者中學校及高等學校ニ外國語ノ教授ニ對シテ從來ハ英文ニ對シテ重キヲオキシモ今後ハ右ノ議定ノ主旨ニヨリ外國語ヲ教授シ殊ニ佛文ニハ最モ力ヲシカヘキコトヲ電令スト

(十月二十三日七十三行函報)

MT 3.3.8.5

4208

○西南大学建設ノ議
 學界各團體ハ軍政社及國會ニ請願
 書ヲ提出シ之憲政派ハ本ヲ以テ國家百
 年ノ計ヲ以テルル大ニ突稅ノ剩余金ヲ以テ
 西南大學ヲ西南護法大學ヲ建設セシ
 レンコトヲ請願スト二十五日、省教育會内
 ニ大會ヲ開キ討議スト云フ各代表者次ノ
 如シ、西澤田學生會黃鴻、中等以上學校
 學生聯合會、張慶榮、國貨陳列所
 鄧鈞、一級專省教育會陳其瓊、金
 省、省學生聯合會、李樸生、陳文
 駐一級專童子軍黃憲昭、政界同業
 會程祖舜、外交後援會宋以梅、
 南云會李明德、省會小學聯合會何
 劍吳、至精教救國會鍾榮光、西冠
 天、孔教會林沃豐、新佛教育會黃
 黃強、陳其瓊等ナリ

MT 3.3.8.8

4210

MT 3.3.8.8

4209

3-0648

0232

741045

長官送先

臺灣軍老謀長、臺灣海軍武官、考謀次長、
 海軍少令次長、外務次官、内務次官、法制官、
 拓殖局長官、北京公使、東中將、坂西少將、
 立花軍司令官、宇都宮軍司令官、(警備總司令部)
 總長、青島民政官、朝鮮政務總監、朝鮮
 警務局長、内閣書記官長、山路馬公司令官、
 山岡少外務隊司令官、干阪那二司令官、八角
 山司令官、飯沼司令官

MT 3.3.8.5 4211

3-0648

0233

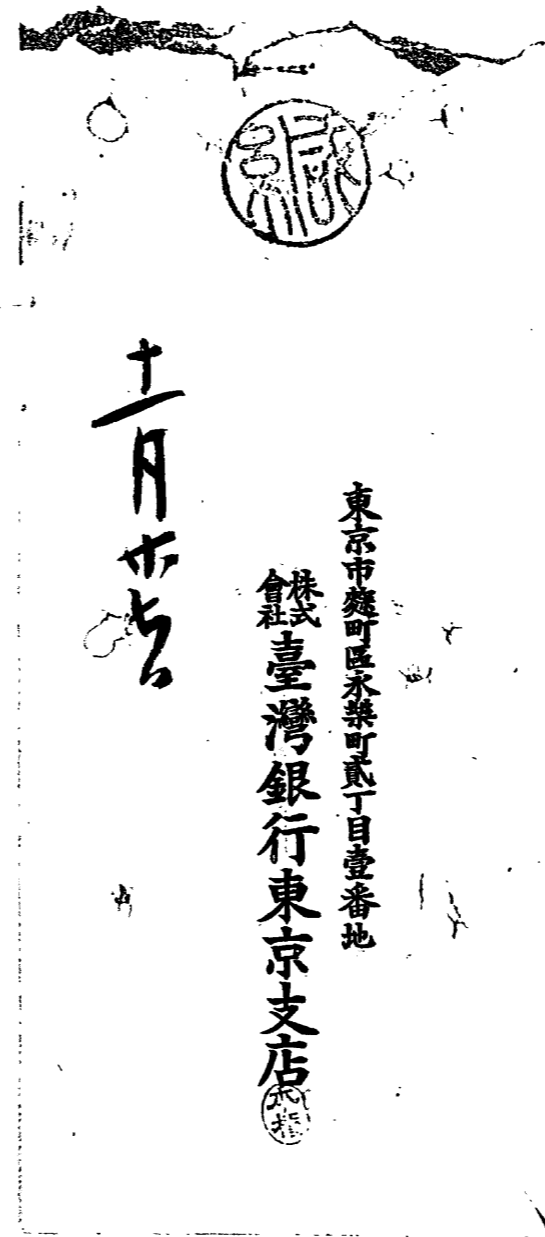
外務省
改務局
高尾総領事殿

3-0648

0234

3-0648

0235



別紙
12

741046
第6項
第4類
第17門
第11第
35552

附屬書類添付

大正八年七月廿日 接受

陸通局

第三課

別紙添付

第一四一七三號

大正八年十一月十九日

大正九年正月六日

陸通局第一課接受

農商務次官大塚勝太



外孫次友壇等心立成

支那の於ける日貨排斥問題之算
今般富山外子ヨリ、外城官、通
具申、外子有之而、本問題、
閣下ハ、考省、於テモ不係、
慮、結果、近來湖政、手勢力、失墜
ニ來、候、テ、外孫總、考、ル、モ、
遠カ、ル、ナ、ル、ハ、キ、儀、ト、被、思、考、ス、
其、外、記、具、申、ノ、外、子、モ、右、ノ、如、ク、付、
力、寫、茲、ノ、及、付、送、附、ク、條、本、付、
シ、テ、ハ、今、後、考、可、然、ク、考、慮、
及、付、申、送、ス、也。

農商務省

MT 3.3.8.5 4213

MT 3.3.8.5 4212

3-0648

0236

741047

農商務省

輸出貿易保護ニ係ル件

大正八年十月十五日

東園基光

京都府大田山本達雄殿

大正九年五月六日 電録第二部接受

本^縣市^縣昔來茶葉ヲ以テ物々高山市ヲ中心トシテ
 産額年々増加シ大正七年一産額七百三十万高テ大正
 七年一産額ニ未穀ニ次ル知事要知者ニ有之而テ
 此販路ハ内地及殖民地ノ到ルニ至テ有スルニテ
 明治三十七八年戦役以後茶葉者ノ奮勵努力ニ依
 テテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ
 物出額ヲ増加シ大正七年ニ於テハ約六十万高ニ上

MT 3.3.9.0 4214

3-0648



741048

為業者ハ今ヤ支那各地ニ支店或ハ出張所ヲ設キ
 ン益々其勢ヲ企圖シ在英領ト本年五月山
 東問題ニ基因セト物セラル、日債抑々事件起リ
 此等勢所ハ熾烈ヲ加フルモノ、如ク為ニ支那各地
 支店ノ振興ハ俄然一振挫ヲ来セラル、今日本
 ニ損害ヲ蒙ルトト是ニ甚大ナル有之速ニ之ヲ救済
 ルニ此等ハ昔業者其等業者ヲ救済スルヲ能クス
 支那ノ若キキ不振ヲ来レ近キ支那ノ經濟界ニ
 因事ハ折撃ニ鮮キニ此ト被認ス、左ニ支那
 各地ヨリノ情報ヲ綜合シテ其ノ状況ヲ報告シ、此等
 支店ニ此ノ併セテ右ノ救済並ニ今後ノ保護ニ付テハ一
 切配定メ成度此段及具申テ矣也

(右井橋)

MT 3.3.8.5 4215

農商務省

支那學生ト見受ケラルモノ各日本商店ノ店前
 ニ二三名多キハ姓名帳番ヲナレ或ハ書櫃ヲ海
 セス日中商店前ニテ演説ヲナレ或ハ擲口
 引孔ヲ撒布シ支那人ノ日本商店ニルヲ妨礙セリ
 各商店前ヲ掃蕩、停車場等ニハ學生數名ヲ
 配至レ口布ヲ有無ヲ検査シ、奪見シ急件ハ荷
 受先ヲ見届ケテ之ヲ力智迫シテ破壊セシメ若シ
 聽カサルハ是ヲ強奪ス而シテ奪見シタル場合ハ
 其ニ令シハ學生團ニ令シハ密告者ニ付テハ、
 内規ヲ設ケル趣
 支那運送店何レニ日中商店不ヲ取扱ハス若シ

MT 3.3.8.5 4216

3-0648



741049

施イテ取扱ヲ要求セバ彼等ハ其有ノ損失
 或ハ強奪セラル事アルモ其責ニ任セサルコトヲ以テ其有
 主ノ不安甚シキ事第一如キ主トシテ支那内地ニ運
 送スルハキモハ折ニ撃甚シ
 批日貨前送ニ取引シタル者急代金ノ回收不能
 ニ陥リ特支那人ヨリ受取ル形トシテキモハ折ニ
 支那銀行又ハ錢莊ヲテ受付ケル
 支那銀行 錢莊ハ日本人ニ對シ一切ノ取引ヲナシ
 支那銀行 錢莊ハ支那内地ヨリ支那ニ郵送ヲ支那ト在モ
 ノニシテ 隨中其取引方法ハ年二回五月五日八月十五
 日ヲ以テ決算期トシ其間ハ内地ニ仕積負ヲ派シ集
 金ヲナサズ昨今支那人ハ日貨批作ヲ機トシ自家製

MP 3.3.8.5 4217

農 商 務 省

利ヲ抗張ニ口突トシテ日本賣業ハ全地有害
 無益ト知シ其レキ番ヲ退スレテ支人ヲ密ハントスト
 如キ謠言ヲ於テリ之レ方為内地旅行ハ全ク危険
 ニシテ加フニ各取引先ハ日本子ヲ破棄セラレ或ハ探
 奮セラレタトハ口突ヲ以テ代金支拂ヲ拒絶シ或ハ商
 不ヲ返送シ来ルモノ款ハトシテ教知ス
 五月七日ヲ以テ因配記念日トシ再々毎年何事
 カハ牛股方法ヲ以テ批日ノ事勢ヲ高ルコト必然ナ
 而シテ支那ノ如キ成盟期ハ恰モ三月頃ヨリ六月迄ニシテ
 五月ハ其最盛時ナリ之ヲ以テ同業者ノ影響者
 ハ甚シキ大ナリ
 今次ノ日貨批作ハ其最盛時ナリ其影響者ト損失

MP 3.3.8.5 4218

大正八年五月廿日 接獲 駐通商 第一課

741051

第13826號

政務局

電報 宛在

十月十八日 午後四時十五分着

上海佐上藤少佐

上海電第一二五號

大正九年五月廿六日 駐通商第一課 接獲

一昨十六日ノ福州日支衝突事件ニ関シ當地新聞ニ
傳フル處ハ日本人ハ支那學生一名ヲ殺シ次イテ青
年會ニ闖入リ米人二名ヲ傷ケ巡警一名ヲ仆レ十
一人ヲ傷ケタリ 現場テ日本人十一名ヲ捕ハタシ
中ニ日本領事館警察官アリ之ヲ指揮セリ依テ福
州市民ノ憤慨甚レク全市閉店シ十七日國民大會
ヲ開ク筈又領事團ハ緊急會議ヲ開キ軍艦ヲ派
遣スル筈ナリト 右電報ニ對シ上海ニ於テ最モ

陸軍

有力ナル新聞 報ハ其論說ニ日本人ハ近年
福建經營ニ日モ亦足ラス今ヤ學生ヲ殺シ辱メラ
受ク朝鮮ト異ナラハ之ヲ忍ブバクンハ何ツカ忍ブヤ
ケンヤ福州ハ疲弊シ國民大奮ヲ開クトカカ之
福州一隅ノトニアラス全國人民ノ後援スヤキ問
題ナリ支那ハ近時日本ヨリ欺カレ批日感情昂
騰シアル際日本人ハ端ナリモ人ヲ殺シ米人ヲ傷
其横暴言語ニ絶ス正義人道ヲ唱導 セラレハ
時勢ニ果シテ是等野蠻ノ挙動ヲ容レハ得ニヤ
ト煽動的記事ヲ掲ケ又當地全國學生聯合會
ハ昨十七日南北政府ニ嚴重交渉セラレタシト
打電シ別ニ福州李督軍ニハ責下カ若シ嚴重

MT 3.3.8.5 4222

MT 3.3.8.5 4221

3-0648

0241

外務部

教務局

次長 13390

大正八年五月廿一日

741052

大正八年五月廿一日接獲 陸軍部 第一課 送
 次官同文 十一月二十日
 電報 宛在 臺灣參謀長
 參謀次長 宛在 臺灣參謀長
 台電第三〇〇号
 信スヘキ邦人ノ言ニ依リハ福州事件ハ十七日無事経過セ
 ルモ尚不穩ニシテ居留民ノ軍艦ノ到着ヲ待チツヤリ本事
 件ニ關シ支那官民六十名會合シ巡警等ノ慰籍料
 日本ノ謝罪ノ領事ノ交渉ヲ決議セリ領事團モ亦今回ノ
 事ニ反感ヲ抱キ會議ヲ開キテハ或ハ抗議出ツルヤモ知
 ルハカラスト本件ハ邦人側ノ巡査指導ニ基キ舉行セラレタ
 ルニ付 爲ニ支那側ノ反感稍増大ノ模様アリ
 大正八年五月六日 陸軍部第一課接獲

MT 3.3.8.5 4224

一 交渉セザレハ責下ノ職責ヲ同ハント詰リ更ニ北京
 又福州学生会ニハ憤慨此上 ナレ速ニ對應策
 フ商議シ一 奮闘セント電報セリ御参考ス
 北京、台湾、漢口

MT 3.3.8.5 4223

3-0648

0242

大正八年十月廿二日接

駐通商 第課

陸同文

電報

十一月廿一日

午後四時十分發
午前七時廿分着

次長

宛

在 臺灣軍參謀長

741053

秘授13412號

政務局

台電第三〇二號

外

福州於昨日熱ハ十月下旬再燃ノ氣味アリシカ世一
 天長節祝日ニ邦人ノ提灯行列ヲ行ヒ支那學生等
 ノ反感ヲ増シ邦人所屬ノ貨物ヲ強奪燒却シ日
 本商店侵入ニ運搬貨物ヲ取押ユル等危害ヲ加フ
 ルヨリ領事ハ強硬ニ交渉セリ然ルニ支那官憲ニ形式
 回答ヲ贈リ暗ニ學生ニ運動費ヲ與フルノ情状ヲ誠意
 認マキナレ是ニ於テ邦人及臺灣人等ハ自發的ニ自
 衛上ノ組合ヲ設ケ商人所屬ノ貨物ニ監視人ヲ附シ

學生カ該貨物ヲ取押ユル等ノ場合ニハ右學生ノ地方
 官憲ニ引渡し彼等ノ反省ヲ促サント計畫セリ
 十六日台湾人五名監視ノ下ニリース糸一箱ヲ運搬
 中午後五時頃青年會館附近ニ於テ青年學生三
 名ノ爲取押ヘラレ且殴打セラレタリ以テ監視人ノ驅テ
 リ學生等ヲ殴打シ支那巡警ニ引渡し事件落着キ
 リ然ルニセツ耳ニシタル台湾人四五名日本人数名現
 場ニ駆け付ケタルニ青年會ヨリモ数百ノ學生集マリ
 再衝突ヲ惹起シ双方ヨリ發砲シ入乱レ渡リ合
 ヒシカ武裝巡警一隊モ次テ之ニ加ハリ巡警一名死七
 學生、邦人、台湾人ニ数名ノ負傷者ヲ出シ遂ニ巡警
 ノ警戒ヨリ鎮定シタリ 本事件ハ支那側及邦人

MT 3.3.8.5

4226

MT 3.3.8.5

4225

741054

一部ニ領事ノ指導ニ係ル如ク傳ヘテ、アルモ領事
 側ニテモ、開典シテラサルト前途ノ如シ其後、日、支
 間不穩ニシテ若留民ハ軍艦ノ派遣ヲ要望シ海軍
 側ニ於テハ駆逐艦ニ隻ヲ回航スルコト、ナレリ

(各地ノ情)

MF 3.3.8.8 4227

3-0648

0244

741055

秘受13467

第4項 第2門 第1号

大正八年十月廿四日接受

駐通商

第二課

十一月二十二日

十月二十日午後五時五十分至
十一月二日午前十一時三十分

電報

宛

在

上海

佐藤 少佐

上海電報第三八號

大正九年三月廿六日記録第二號接受

福州事件、關シ上海商業聯合會ハ昨日緊急會議ヲ
 開キ北京政府ニ至急電報ヲ以テ福州事件ハ要スル
 所皆政府ニヨリ外人尙ニ乘レテ虐殺ヲ恣ニスルモノ
 ナルヲ速ニ抗議ヲ提出シテ嚴重ニ交渉シ以テ団体
 員等急會議ヲ開キ左ノ件ヲ討議シ直ニ実行ス
 ル事ニ決セリ

一、北京政府ハ打電
 二、各団体ニ電報ヲ發ス
 三、全國ニ警告書ヲ發ス
 四、學生、商業各団体、演說會ヲ開キ日貨抵制ヲ
 審議ス
 五、各団体ノ意見ヲ徵集シ日ヲ改メテ各會連合會
 ヲ催開ス

又各地教育、學生、商業等ノ七団体ハ昨日北京
 政府ニ日本公使ト嚴重ナル交渉ヲ開始シ衆憤ヲ晴
 ラセト打電シ又上海各會連合會ハ十九日全體職

福州事件、關シ上海商業聯合會ハ昨日緊急會議ヲ
 開キ北京政府ニ至急電報ヲ以テ福州事件ハ要スル
 所皆政府ニヨリ外人尙ニ乘レテ虐殺ヲ恣ニスルモノ
 ナルヲ速ニ抗議ヲ提出シテ嚴重ニ交渉シ以テ団体
 員等急會議ヲ開キ左ノ件ヲ討議シ直ニ実行ス
 ル事ニ決セリ

一、北京政府ハ打電
 二、各団体ニ電報ヲ發ス
 三、全國ニ警告書ヲ發ス
 四、學生、商業各団体、演說會ヲ開キ日貨抵制ヲ
 審議ス
 五、各団体ノ意見ヲ徵集シ日ヲ改メテ各會連合會
 ヲ催開ス

又各地教育、學生、商業等ノ七団体ハ昨日北京
 政府ニ日本公使ト嚴重ナル交渉ヲ開始シ衆憤ヲ晴
 ラセト打電シ又上海各會連合會ハ十九日全體職

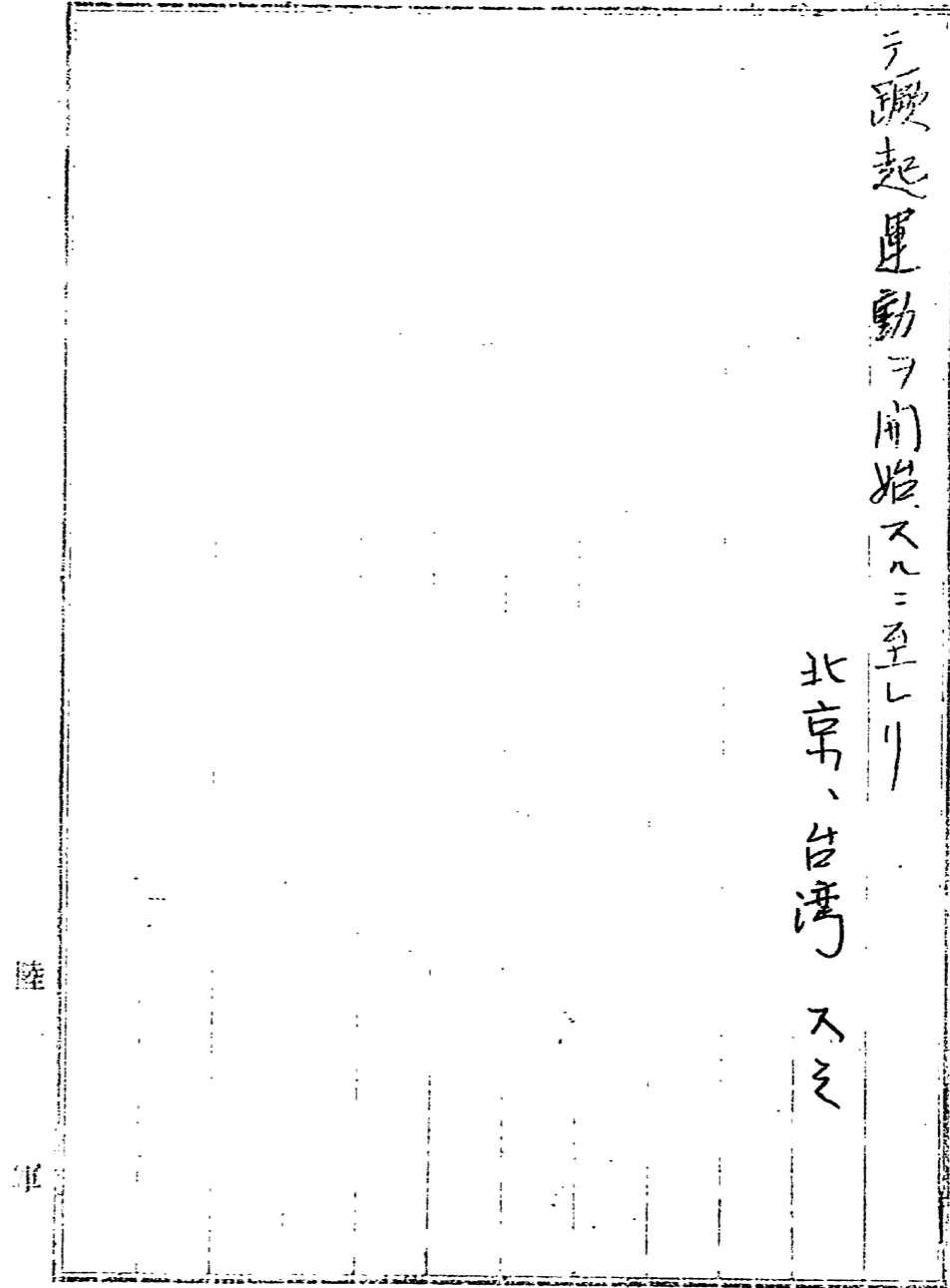
MT 3.3.8.5 4229

MT 3.3.8.5 4228

3-0648

0245

741056



元 蹶 起 運 動 の 開 始 へ 至 せ り

北 京 、 台 湾 へ 至 せ り

陸 軍

MT 3.3.8.9

4230

3-0648

0246

支友 41057 大長

(13 254)

電信移報 大正八年十一月廿四日
發信者 福州支店長 大正八年十一月廿二日午後七時 分發信
受信者 東京總支配人 大正八年十一月廿三日午後一時 分受信

電文

排日形勢益々險惡ニシテ日本商店ヨリ賣却先ニ商品運搬中學生ノ暴行屢々ナルカ十一月十六日暴行ノ結果學生ト臺灣籍民ト大衝突ヲ來セリ雙方共短銃其他ノ兇器ヲ携帯セルモノアリ大混亂ヲ極メ一時發砲シ合ヒタル結果巡警一名死ニ瀕シ日本人數名臺灣人數名重輕傷アリ支那警官ハ武裝シテ非常警戒ヲ爲シ支那軍隊出動シテ一般戒嚴ニ富リ漸ク治リタリ
シカモ支那警察官及軍隊ハ學生ニ加擔シテ籍民及日本人ヲ銃劍ニテ包圍スル有様ニテ日本人ノ憤怒頂點ニ達シ日本人七名臺灣人數名ノ

大正九年六月六日 記録第二部接受

MT 3.3.8.8 4231

捕虜ハ支那官憲ヘ交渉翌朝四時當方ヘ引渡ヲ受ケタリ
支那側ハ憲兵一、學生一、憲官一、死去セリトテ學生憤怒ヲ極メ憲官軍隊暗ニ應援シテ十一月十七日省議會ニテ國民大會ヲ催シ誓ヒテ復讐ヲ絶叫シ支那側ニ對スル損害賠償領事ノ交迭新任領事ノ謝罪騷動ノ主謀及現場ニ捕ハレタル兇徒ハ日支法官會議ニヨリ審査懲罰スルコトヲ決議セリ十一月十八日ニ至リ市中開店シタルモ揚言盛ニシテ不安去ラス支那全體ノ排日形勢ニ惡傾向ヲ生セシムル虞アルヘク懸念サル事態ニシテ今後成行豫想出來ス目下支那側ハ交渉ノ成行如何ニ注目シ此際輕舉盲動セハ外交上不利益ナリト見テ警戒極力當局者ヲ督勵シ表面ノ態度頗ル慎重ニシテ邦人ニ危害ヲ及ホスカ如キ暴舉ヲ演出スルノ虞ナキモ裏面排日ノ決心ヲ強クシ底氣味惡キ状態ナリ中以上ノ學校ハ一齊ニ休業セリ。

MT 3.3.8.8 4232

3-0648

0247

741058

電信 臺北總務部長 大正八年十一月廿四日
東京總支配人 大正八年十一月廿一日午後十一時〇分發信
廿二日午後七時 分發信

(脱漏)

衝突事件交渉成行如何ニ注目シ此際輕舉盲動セハ外交上不利ナリト見
相當警戒中祕刀當局ヲ督勵シ表面態度頗ル慎重ニシテ邦人ニ危害ヲ及
ホスカ如キ暴舉ヲ演スルノ恐ナキモ裏面排日ノ決意ヲ強クシ得底氣味
悪シ~~ク~~状態ナリ中學校以上ノ學校ハ依然休業セリ

MT 3.3.8.5 4233

3-0648

0248

741059

此、事件ニ関シ支那側ハ逸早く省議會議
 二、國及人等ハ地外學生團ナリト云フヲ抗
 二、望見スル北京廣東兩政府並ニ全國
 各機關ニ宣傳ヲナシ日本領事ヲ交バニ謝
 罪賠償並ニ犯人處罰ノ決議四箇條ヲ
 大正九年中央政府ニソノ實行ヲ迫ル等拔目
 ナシ外交ノ手続ノ極上居ルモ日本側ハ公使
 ハ北京政府ニ通告スルニ合意斷シ如キ事件
 發生セルヲ遺憾トシ今後領事ヲ戒飭シ充
 分取締ヲナサシムルニ付貴國側ニシテモ
 地方問題トシテ取扱ハルヘキモノニアラ
 二、青島問題トナリテ全國ニ向テ
 海軍

MT 3.3.8.5 4235

外務大臣

13582

前電續(時)電 譯
 三、蓋シ内地人及ビ台湾以智民等ニ福建省當局
 二、不法ノ處子生ヲ處罰セザルヲ以テ自己ノ貨物
 二、身ヲ以テ保護セザルヘカラストナシ商品保護
 二、團ナルモノヲ組織シ貨物自衛ヲ計ラントセリ
 十六日、爭鬪ハ主トシテ此ノ團體ト學生其ノ
 他ノ衝突ニ外ナラス此ノ爭鬪ハ耶蘇教士身年
 會、米國人二名参加シ内一人ハ、米銃ヲ
 奪ヒ顔面ニ打撲傷ヲ及ケタリシト聞ク

大正九年三月廿六日記録第二部接受

MT 3.3.8.5 4234

大正八年七月廿五日接受

管領

第三課

大正八年七月廿五日 二時四十分 分厚山(無)局發
 二時五十分 八時三十分 分海軍(無)局發

受信者大臣

送 成 艦 長

3-0648

0249

741060

741060

海	軍	歩使ヲ訪ヒ合同ノ如ク事件ヲ再發セサル様 カニ努カテ支那文武官ニ望ムル旨ヲ傳ヘシニ完 全ニ日本臣民ノ生命財産及ヒ通商ヲ保 護シ合同ノ如キ事件ヲ再發ヲ未然ニ防 クハシト宣明セリ (三)
---	---	---

MP 3.3.9.9

4237

海	軍	ニスハシ或ハ又日本ノ 福建省督軍 ニ合シテ新クカキ不法行為ヲ再ヒセシメサラン コトヲ要成セル外本件ニ関シテ未タ具體的條 件提申ノ運ニ至ラスト同ク目下處分生テ殆ト 茲ニ公案ヲ保護下ニ日貨調査ヲ行ヒツ 下シ奇観ヲ呈ス意ヲ合同福州ニ於ケル事 斷ニ裁判ノ結果ニ依リテハ福州ニ於ケル日本 臣民ハ永ク通商ヲ抛棄セサルハカラサルベク 若又日本ノ臣民從テ見ハ台湾籍民ニ對スル日 本ノ威信ヲ失墜ニ引イテハ台湾統治細 微ヲ想本ヨリ覆ヘスニ至ラサルヤ懸念ニ甚 エスカニ當リテ受當ノ態度ニ出ツルヲ望マツ ルハ得ス馬尾入港後本職ノ領事ト共ニ交
---	---	---

MP 3.3.9.9

4236

3-0648

0250

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

741061

13582

大正九年十一月五日接受

管領

第課

大正九年十一月五日

四日

午後二時五分

嶺峯

嶺峯 嶺峯 嶺峯

受信者 大臣

(普通文電) 報譯

去ル十六日午後六時日支人間ニ大衝突アリ
 遂ニ流血ヲ見ルニ至レルガ其原因ハ五月以來學生
 生等ノ排日行為絶エザリシガ十月十日國慶日
 前後より一層其シキモノアリ 國慶日ニ於ケル提
 燈行列ハ督軍カ方一ヲ慮リテ差止メタルニ皮肉
 三毛天長一郎ニ日本居留民ハ祝賀提燈行列
 ノ惟アリタルヲ以テ學生側ハ非常ニ憤慨シ十月
 十日福建独立記念日ヲ以テ排日文字ヲ羅列

大正九年十一月廿六日 記録第二部 軍

MT 3.3.9.5

4239

外務大臣

13584

大正九年十一月五日接受

管領

第課

大正九年十一月

二日

午後八時七分

嶺峯

嶺峯 嶺峯 嶺峯

受信者 大臣

(暗號電) 報譯

至急 昨二三日夜十一時至臺灣籍民一名新馬路通
 行中十二三名、學生ニ捕ハシテニラレタル上
 全自ニ瀝上月ヲ瀾、且烈シク毆打ヲ受ケテ
 生命危篤ノ状ニ至リ 形勢頗ル重大ナルト
 林領事ヨリ報告セラルニ接シ

大正九年十一月廿六日 記録第二部 軍

MT 3.3.9.5

4238

日本人天田洋行外一軒之數名、學生、為之
 得意先ニ送付セントスル貨物、途中ニシテ着
 押ヘシレ燒却ヲ自ラレリ然ルニ督軍亦厚
 基ハ馬良揚以徳等ノ轍ヲ踏タトヲ此レ斯
 シ、如キ日本商人ニ對スル不法行為ニ取テ處
 罰取締ヲ為ス、尙セズ軍ニ領事ニ對シテ相
 害賠償ヲ約シタルニ過キザルヲ以テ學生ハ益々
 煽ヲ甚クスルニ至リ
 ナレ、日午後、邦商天田洋行ヲ、コレスト護
 價額百三十九ノモノヲ搬、途中基督
 青年會前ニ於テ支那學生三名、為善押ヘ
 ラレタルガ豫メ、行シ来リシ保護團台灣籍
 兵五六名、為一名ハ捕ヘシテ支那川警ニ引渡

4241

MT 3.3.0.0

先提燈行列ヲ、大々ニ排日ヲ煽ル
 従来支那商店ニ對シテ、刻ナル日債排斥ヲ
 行フニ付、我領事ニ取締ヲ要求ス、對シ
 福建當局ハ、單ニ申請的布告ヲ出ス、止
 何等誠意アル取締ヲ為セザルヲ、學生等ハ、憎
 長シテ毒手遂ニ日本商人ニ及ビ、日本商店ヲ
 賣却先ナル支那商店ハ、商品運搬ノ途中ヲ
 擁シテ之ヲ奪ヒ、果行ヲ加フルト頻出シ去ル
 十日、如キ元台灣人經營ノスイジニ、キヲ城内取
 引先ニ運搬セントスル硝子二箱、燐才一十包ヲ奪
 ヒ、是等ヲ基督教青年會内、國貨調査會
 本部ニ持込、更ニ多數ノ學生、援助ノ下ニ
 保存國貨會ニ至リ、之ヲ燒却シ又同日

4240

MT 3.3.0.0

海軍	<p>モナリ双方員傷中重傷支那側學生一名川 發一名憲兵一名日本人側打撲重傷一名 以上二事開原因及經過、概要ナリ</p>
----	---

WT 3.3.8.5

4243

海軍	<p>サレシ他二名、青年舎ニ此ケシミタルカ復讐 一為學生數十名ヲ誘ヒ根棒竹槍等ヲ携ヘ ニ押寄せ来リシガ急ヲ聞キテ馳セ加リン台湾 人十数名及内地人五六名ト、間ニ再々衝突ヲ 惹起シタルガ學生等、急報ニ依リテ駆付ケ シル多数、學生無頼漢並ニ鎮撫、為ニ此場 シタルハ警軍隊サハ學生側ニ加撲シ五百三 名トシ格闘、未遂ニ双方共致砲ニ互ニ数名 ノ重傷者ヲ出ダシ、此騒ヲ鎮壓ニ向セシ 領事館警察署長以下五名モ此學生等ニ 包圍セラレテ支那料理店ニ引ケテ何レモ多 少ノ負傷ヲ蒙リタルアリ、聯軍後邦人ノ相違紳 士ニシテ該所ヲ通行中ハ警、為打撲負傷者</p>
----	---

WT 3.3.8.5

4242

741064

第13557號

大正八年十月廿五日

第... 第... 第...

陸同文電報

參謀總長宛

在 天津軍司令官

十一月三日午後二時三十分發

天電第二一九號

天津支那商務總會會長十蔭昌ハ從來排日ノ首領ト目サレタル人物ナリシタメ其ノ會長ニ當選スルヤ我カ總領事ハ彼ノ如キ人物カ該商務總會々長タルハ日支高業上面白カラサル點アリトシ當地工高部員ニ謀リタル々何等効果ナカリキ然ルニ其ノ後附近ノ工高部員ヲシテ曰水入ニ親交アル者來津セルヲ機トシ總領事ハ更ニ坐談的ニ意見ヲ述ハタルニ該工高部員ハ其レヲ書面ヲ以テ農高次長ニ申出ルヲ可トセント云ヒタル為我總領事ハ該書面ノ寫ヲ天津實業廳長ニ送附シ來リシカ終ニ新聞屋

陸軍

ノ探知スル所トナリ茲ニ問題ヲ惹起シ支那學生遂ニ邦人團體ニ交渉スルニ至リ連日之ヲ論議シ高議會ニテモ決議ヲ以テ國務院ニ打電シ

津騰シ居ニ詳細ハ筆記報告ス

尙且曩ニ大勃發以來支那人ノ對日本人ノ態度ハ頗ル傲慢トナレルモノアリ小事件ヲ促ヘテモ直ニ重大視セントスルノ風アルヲ以テ我ノ改ムヘキハ改ムルノ必要アリト雖モ支那國民性ニ鑑ミ強硬ニ出シ

MT 3.3.8.5 4245

MT 3.3.8.5 4244

3-0648

0254

大正八年七月廿五日接受 第一課

土月二十三日

土月二十三日午後五時五分

東少将

電報

總長宛在

741065

秘受13559

友極秘第... (自反衛安事件) 閣下ノ如ク意見書ヲ大總統ニ呈出セリ
 謀報者ノ報、外交委員會ハ福州ニ福州駐在官署ヲ代セルコト
 二事端ヲ續セル日本領事官警署ヲ察視ニ四副スル事
 三、死傷者ニ慰謝金ヲ与フルコト 四、事件ヲ起セル日本人ヲ懲罰スル
 コト 五、今後日本商人ハ銃器ヲ携行スルヲ得サルヲ保証スルコト
 六、日本ノ委員ハ友耶ニ向ヒ謝罪スルコト、尚本件ハ福州ニ於テ處
 理スヘシト附記シアリ之々、又本事件關シ米代理公使ハ福州宣教
 師ヨリノ電報ヲ携入十九日午後四時外交部ニ陳次長ヲ訪ヒ眞
 想ニ附テ質問スルコトコトアリレド

台湾上海洋行

MT 3.3.8.5 4246

大正八年七月廿五日接受 第一課

電報

次長宛在

台電三〇六号

廣東電

福建事件ニ對シ廣東地方ニ於テハ其ノ曲日本ニ在リトシ
 之ヲ利用シテ益々排日ヲ煽動セントスル模様アリテ國
 會ハ二十日軍政府ヲシテ嚴重ニ交渉セムヘシトノ決議案
 ヲ通過セリ

大正九年五月廿六日記録第二部接受

MT 3.3.8.5 4247

陸軍

3-0648

0255

大正八年七月廿六日接受

雙通篇 第二課

川邊

電報

參謀總長宛

在上海

佐藤少佐

十月二十五日

十月二十四日午後四時五十分著

上海電第一一九

總務局長

政務局

福州事件ニ関シ各地各界聯合會主任ノ國民大會
 昨ニ十三日午後二時ヨリ石門外體育場ニ於テ挙行セ
 ラレ各團體代表ノ慷慨的演説アリシ後尤ノ件ヲ
 可決シ北京政府ニ打電シタリ 大正九年五月廿六日記録
 福州在留日本人ノ我學生ヲ銃殺シ商人軍警ヲ傷
 ケタリ而シテ日本ノ遂ニ軍艦ヲ派遣シタリト之ヲ聞
 キ上海各界ハ非常ニ憤慨シ本日國民大會ヲ開キ果
 マル者三萬餘人左ノ件ヲ可決セリ

陸軍

- 一 福建日本領事ヲ交迭ス
 - 二 日本政府ヨリ謝罪ス
 - 三 死傷者ヲ慰藉ス
 - 四 犯罪日本人ヲ懲罰ス
 - 五 今後日本商人ハ武器ヲ携帯セザルコトヲ保證ス
 - 六 福建日本領事館警察署長ヲ懲罰ス
 - 七 日本領事裁判權ヲ撤廢ス
 - 八 日本軍艦及軍隊ハ福建ヲ離ルヘシ
- 政府ハ右ノ民意ヲ尊重シ速ニ交渉ヲ開始シ 國ヲ耻
 ナカシム
- 尚右國民大會ハ附帶事項トシテ日債排斥ノ勵行ヲ
 決議シ日債排斥ニ関スル四十餘種ノ撥文ヲ配賦

MT 3.3.8.8

4249

MT 3.3.8.8

4248

外

741067

13647

且ツ會場入口ハ日債輸入ノ現状及其ノ種類等ヲ白
木綿ニ大書シテ揭示セリ
北京、台湾、済南

大正八年七月廿七日接受

駐通商

第一課

電報

宛

在

中支那派遣隊司令官

十一月二十六日

十一月二十四日午後四時四十分
二十七日午後六時三十分

参謀總長
福州ニ於テ日本支那兩國ノ衝突ノ報當地ニ傳ルヤ激ニ憤シ
各學校學生代表者去ルニ二十日文科大學ニ集會シ日本人
ノ不法行為ヲ聲明シ且ソ政府ニ抗議提出ヲ要求スル事ノ決
議ヲ一ヒリ又當日ニ於ケル支那新聞中ニ日本人ノ暴行并
題ヲ掲テ悲憤慷慨ノ評ヲ列挙セルモノアリ何レモ其論
法ハ各地ニ於ケルモノト大差ナシ本細書面

大正九年一月廿六日駐通商第一課接受

MT 3.3.8.8 4251

MT 3.3.8.8 4250

3-0648

0257

外

741068

新受13648 永文

大正八年七月廿七日接受
第一課

電報

宛

在

台湾軍参謀長

十一月二十五日午後二時五十分發
十一月二十六日午前九時五十分發

十一月二十六日

福州總務總會會長黃東榮ハ今回ノ衝突事件ヨリ再ヒ
自軍等ヨリ疑ハルルニ至レル爲メ手續中ナリシ台湾籍民
問題ハ當分之ヲ見合スコトセリ

北京濟

大正九年五月廿六日配録第二部接受

陸軍

MT 3.3.8.9

4252

3-0648

0258

741069

秘受13686

陸同文

電報

總長

宛

在天津軍司令部

十一月二十七日

十一月二十七日午後三時
二十七日午後十時

一九一九年十一月廿六日記録第二部接受

天電第三三三號

福州事件ニ關シ天津北軍、於テ支那新聞及漢字

新聞ニ排日ノ好資料トシ連日筆ヲ極メテ日本ノ橫暴ヲ

論議シ甚ク事實ヲ捏造シテ、アト共ニ排日ノ生

動ニ一帯其氣勢ヲ高メテ、或ハ演説ニ或ハ傳單ニ

捏造ノ事實ヲ誇大ニ吹聴シ政府ト連リテ日本ニ

對シ強硬トシ談判ヲ開始セシメントシ要スルハ全國各商

工業者、同盟休業ヲ強要シテ政府ヲ鞭撻セント計畫シテカ

ルニ、軍、於テ事件ノ進展ヲ外字新聞ヲリテ知ヤ直ニ電

報ニ事ヲ下シ、在田

漢軍、電報ニ事件ノ真相、通報シ復テ邪字、漢字、英

字、在新聞、軍、之ヲ揚言シ、捏造事實ヲ誤信セシ

サハコトヲ努メテアト雖トモ最初先支那側ノ誤報ヲ讀ミ

ハスニ對シテ却テ日本側ノ傳、所ノ捏造事實ナリト感シ

ク、金アリテ甚不利ナリ、存テ將來事件ノ發生ニ對シテ

其大相ノ最迅速ニ報道シ、後ケ英國人及支那人、先

テ日本側新聞、ヨリテ報道セシコトヲ希望ス、詳細

ニ事、記、報、者、

外

政府局

MT 3.3.8.5 4254

MT 3.3.8.5 4253

3-0648

0259

大正八年七月廿八日接獲

駐通商 第一課

陸軍

電報

十一月廿七日

十月二十七日午後七時一分着
十月二十七日午後二時十分着

參謀次長宛

在臺 陸軍參謀長

臺電第三一六號

政務局

741070
勅令13683號

福州ニ於テ先那留學生ノ行動ハ尙不穩ニシテ二十四日
粵人ハ學生ヲ數ヶ所ノ傷ヲ受ケ全身ニコールドヲ塗ラレ
テリ在留邦人ハ事件發生以來神經興奮甚シキモ領事
ノ慰撫ニヨリ今日迄事ナク経過シ居リ領事ハ人々鎮撫ノ
爲ニ三日馬尾ニテ幾ル軍艦相撲ノ福州再航ヲ要
スルニ吃水ノ關係上不可能ナルハ或ハ水兵ヲ福州ニ至
ラシムナラント

大正九年五月廿六日記録

陸軍省、陸軍本部

陸軍

MT 3.3.8.8 4255

3-0648

0260

741071

6/2/17

文書課
長
検
印

大正八年三月廿八日接

大正八年三月廿八日
四月二十九日
五月

有附属物

済
校
印

大正八年三月廿八日
大正八年三月廿九日

支那通商局長

通信者

若宮有社社長宛

大正八年三月廿八日 記録第二部接

支那兵士の復讐作、本邦海運業

及支那兵の復讐、関心件

本年八月十一日所報並九七五編

三月下旬に於て、備上事件、其

の調査中送所報を成関了、此等間

右等、及中回送等

(別冊添附、下)

MP 3.3.8.5

4257

MP 3.3.8.5

4256

3-0648

0261

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

741072



秘授13981號

大正八年十月 六日 接受

台參謀第三三三號

陸軍省 陸軍部 第三課

大正八年十月二十五日

其

臺灣軍參謀部

南支情報第三四號

福州事件ノ及影

一各地ノ情況

二所見

要同付了

MP 3.3.8.5

4258

3-0648

0262

福州事件ノ及影 各地ノ情況

福州ニ於ケル日支人衝突事件ニ関シテハ既ニ報
告セシ如ク支那學生ノ暴行ニ對シテ台灣人等
カ自發的ニ自衛策ヲ講シタルカ端ナク又學生
ト衝突セシニ過キス其原因固ヨリ學生側ニアルニ
拘エテ排日支那人ハ時至レリトナシ各地ニ會議ヲ開
キテ慷慨的飛電ヲ全國ニ致シ新聞紙ハ事件ヲ論
大ニ虚構報導シツツアリ其狀況左ノ如シ
福州方面、情報(其三)ヲ以テ報告セシ外會議
ヲ開催シ排日氣勢ヲ高メ尙我領事館ニ對シ
盜ニ脅迫狀ヲ送リツツアリ

MT 3.3.8.5 4259

廣東方面、福州事件ニ對シ其ノ曲日本ニ
在リトナシ之ヲ利用シテ益々排日ヲ煽動セントスル
模様アリテ國會ハ二十日軍政府ヲシテ嚴重ニ交
涉セシムヘントノ決議案ヲ通過スリ
上海方面、同地新聞紙ノ傳フル所ハ日本人
ハ支那學生一名ヲ殺シ次テ青年會ニ闖入シテ米
人二名ヲ傷ケ巡警一名ヲ斃シ十人ヲ傷ケタリ現
場ニテ日本人十名ヲ捕ヘタル中ニ日本領事館警
察官アリテ之ヲ指揮セリ依テ福州市民ノ憤慨
甚クシク全市閉店シテ七日國民大会ヲ開ク苦又領事
館ハ緊急會議ヲ開キ軍艦ヲ派遣スル筈ナリト
又曰ク日本人ハ近年福建經營ニ日々亦足ラス今ヤ
學生ヲ殺シ耻ヲ受ク朝鮮ト異ラス之ヲ忍ブヘケン

MT 3.3.8.5 4260

又福州ニテハ國民大會ヲ開クト云フカ是レ福州一隅ノ事ニ非ス全國人民ノ後援スヘキ問題ナリ支那ノ近年日本ヨリ欺カレ排日感情昂騰シアル際日本ノ人ハ端ナク人ヲ殺シ米人ヲ傷ケ其橫暴言語ニ絶エス正義人道ヲ唱導セラルル時世ニ果シテ能ク此等野蠻ノ舉動ヲ容ルルヲ得ンヤト痛切の兆事ヲ掲ケ又同地全國聯合会ハ十日「南北政府ニ嚴重交渉セラレタシ」ト打電シ別ニ福州李督軍ニハ「貴下カ若シ嚴重ニ交渉セサレハ貴下ノ職責ヲ担ハシ」ト誌リ更ニ北京及福州學生會ニ憤慨盡クルナシ速ニ對應策ヲ商議シ一致奮闘セン」ト電報セリ

又上海商業聯合會ハ緊急會議ヲ開キ北京政府

MT 3.3.8.8

4261

ニ至急電報ヲ以テ「福州事件ハ要スル所皆政治不行ニ依リ外人間ニ乘シテ逆ヲ擅ニスルモノナルカ速ニ抗議ヲ提出シテ嚴重ニ交渉シ以テ國体ヲ保テ」ト打電シ教育、學生、商業等ノ各團體ハ北京政府ニ「日本公使ト嚴重ナル交渉ヲ開始シ辭憤ヲ晴マコト」打電シ上海各界聯合會ハ全体職員緊急會議ヲ開キ左ノ件ヲ討議シ直ニ実行スルコトニ決議セリ

(一) 北京政府ヘ打電

(二) 各團體ニ傳單ヲ發ス

(三) 全國ニ警告書ヲ發ス

(四) 學生、商業各團體ノ演說會ヲ開キ日貨抵制ヲ審議ス

MT 3.3.8.8

4262



(五) 各團體ノ意見ヲ集メ日ヲ改メテ各界聯合會ヲ再開ス

次テ二十三日各界聯合會主催ノ國民大會開催セラレ各團體長ノ慷慨的演説アリシ後左ノ件ヲ可決シ北京政府ニ打電セリ

福州在留日本人ハ我カ學生ヲ斃殺シ商人軍警ヲ傷ケタリトシテ日本ハ遂ニ軍艦ヲ派遣シタリト之ヲ聞キ上海各界ハ非常ニ憤慨シ本日國民大會ヲ開キ集ル者三万餘人左ノ件ヲ可決セリ

- 一、福建日本領事ヲ更迭ス
- 二、日本政府ヨリ謝罪ス
- 三、死傷者ヲ慰籍ス
- 四、犯罪日本人ヲ懲辦ス

三

五、今後日本商人ハ武器ヲ携帶セサルコトヲ保証ス

六、福建日本領事館警察署長ヲ懲辦ス

七、日本領事裁判權ヲ撤廢ス

八、日本軍艦及軍隊ハ福建ヲ離ルヘシ

政府ハ右ノ民意ヲ尊重シ速ニ交渉ヲ開始シ國ヲ恥シムル勿レ云々

尙右國民大會ハ附帶事項トシテ日貨排斥ノ勵行ヲ決議シ日貨排斥ニ関スル四十餘種ノ傳單ヲ配布シ且會場入口ニ日貨輸入ノ現状及種類等ヲ白木綿ニ大書シテ掲示セリト
其ノ他ノ方面 北京ニ於テハ十七日中央政府事件ノ電報ヲ受ケ即日外交部ヨリ我公使ニ對シ抗議ヲ申込メ来リ又外交委員會ハ左ノ意見書ヲ大

MT 3.3.8.5 4264

MT 3.3.8.5 4263



總統ニ提出セリト

- (一) 福州駐在 日本領事ヲ交代セシムルコト
- (二) 事件ヲ釀セル 日本領事館警察員ヲ懲辦スルコト
- (三) 死傷者ニ慰籍金ヲ與フルコト
- (四) 事件ヲ起セル 日本人ヲ懲罰スルコト
- (五) 今後日本商人カ 銃器ヲ携行スルヲ得サルヲ保証スルコト

(六) 日本ノ委員ハ 支那ニ向テ謝罪スルコト
 尚本件ハ福州ニ於テ處理スヘシ云々
 又本件ニ関シ米國代理公使ハ在福州宣教師ヨリノ
 電報ヲ携エ十九日午後四時外交部ニ陳次長ヲ訪シ
 真相ニ就キ質問スル所アリシト

二所見

四

本事件ニ關聯シニノ卑見ヲ開陳シ參考ニ資セントス
 一 海外ニ於ケル通信機關ヲ整備スルヲ要ス
 對外關係ニ於テ通信機關整備ノ必要ハ今更謀ク
 ヲ要マサル所ナルモ今回ノ福州事件ニ就テ一層其ノ
 整備ノ必要ヲ感セシメタルモノアリ
 元來本事件ハ既ニ速ヘシ如ク學生カ排日行為ニ横
 暴ヲ極ムルニ拘ラス支那官憲力之ヲ取締ルノ誠意
 ナキ為メ台灣人等ケ自發的ニ組織セル自衛策即
 チ正當防衛的ニシテ其非固ヨリ學生側ニアルニ拘
 ハラス福州新聞ハ勿論廣東上海天津等ノ諸新
 聞ハ事實ヲ捏造シ無ヲ有トシ煩逆ヲ顛倒シテ針
 小棒大ノ訛事ヲ掲ケ無智ノ國民ヲシテ誤解セシメ
 益々國交ヲ疎隔ナラシメントス然ルニ邦人經營ノ通信

WT 3.3.8.5

4266

WT 3.3.8.5

4265



機関甚鮮少ニシテ而モ無勢力ナルカ故ニ之ニ對抗
シ其蒙ヲ開キ其誤解ヲ自覺セシムルヲ得サルモノ
アルハ事實ノ現示スル所ノ如シ思フテ茲ニ至ラハ難
カ此際速ニ支那ニ於ケル親日派通信機関ノ發達
完備ヲ企圖シ以テ輿論ヲ動カシ彼ヲ指導スルノ必
要ヲ痛切ニ感セサルモノアラシヤ

三、海外居留官民ノ一致協同ヲ要望ス

小數ノ居住民互ニ黨派ヲ以テ暗闘ヲナシ甚レキハ
邦家ノ不利ニ陷ルヲ又顧ミズ現ハニ他ヲ攻撃シテ
内争ヲ事トスルカ如キ事實アルハ屢々吾人ノ耳
ニスル所ナリ福州ニ於テモ亦其數ニ漏レズ同胞
閩粵官民一致ヲ欠キ他人ヲ排擠センカ為ニ三國
交ニ不利ナル言動ヲモ敢テ為スヲ憚ラス依テ對

五

外關係ニ惡影響ヲ及ボスルモノアルカ如シト

果シテ然リトセハ海外發展ノ為ノ憂フヘキ現象
ト謂ハサルヘカラス

縱ニ邦人相互ノ間ニ相容レサル意志アリトスルモ
事尚モ對外關係ニ直ル時ハ大和民族發展ノ根
本義ニ想到シ私心ヲ棄テテ公義ニ就キ上下共
力同心以テ同胞發展ノ為努力スルノ襟度ナカル
ヘカラス

三、此機ニ於テ台邦人ヲ邦人ニ結束スルヲ要ス

福州事件ニ起因シ台湾人モ亦邦人ト同様支那學
生等ニ對シ反感ヲ有スル事明カナルカ故ニ此ノ思潮
ノ向フ所ヲ利用シ台湾人ノ行動ヲ指導シ彼等ノ
依頼心ヲ向上シ自衛上何處迄モ一致ノ行動ヲ以テ

MT 3.3.8.5

4268

MT 3.3.8.5

4267



741078

彼ニ對マサルヘカラサルモノナル事ヲ自覺セシメテ以テ
邦人ト台湾人トノ結束緊密ヲ圖ルハ逸スヘカラサル
好機ナリト信ス

尚終リニ言スヘキハ學生處分問題ナリ近時支那
學生ナルモノハ政治ニ干與シ他人ヲ害シ物品ヲ強
奪シ國文ヲ害シ今ヤ學生ノ言動ハ常規ヲ逸シ
狂的ニシテ然モ危險思想ヲ帶ヒ來レリ之ヲ放棄
シテ處罰セサレハ何ヲカ處罰スルモノアラシヤ然ル
ニ此横暴ニ對シ支那官憲力眞面目ニ之ヲ制壓ス
ルノ誠ヲ欠キ却テ學生ノ教心ヲ損ハントテ運動
費ヲ與フル如キ形跡アルニ想到セハ思ヒ半ニ過ク
ルモノアラシ

母國武威ノ及ヒ難キ地ニアル居留民ハ須ラク此際其
結束ヲ圖リ自衛ノ策ヲ講シ以テ自己ノ保全
ト帝國民ノ威信トヲ全フスル覺悟アル事必要ナリ

發送先
前號ニ同シ

MT 3.3.8.5

4270

MT 3.3.8.5

4269

3-0648



741079

秘授13982號

大正八年青 六日接受

台參謀第三二四號

警務局 第一課

大正八年十一月二十五日

印

臺灣軍參謀部

黒田

南支情報第三三三號

南支排日ノ情況(上月中旬)

- 一、福州方面
- 二、廈門方面
- 三、汕頭方面
- 四、廣東方面

MT 3.3.8.5 4271

3-0648

0269

南支排日ノ情況 (土月中旬)

一、福州方面

福州ニ於テハ十月下旬ヨリ排日熱再發ノ氣分アリシカ三十一日天長節祝日ニ於ケル邦人ノ燈行列ハ大ニ學生等ノ反感ヲ招キ邦人所屬ノ貨物ヲ強奪燒却シ日商店ニ立番ヲ附シ運搬貨物ヲ取押フル等ノ危害ヲ加フルニ至リシカハ我領事ハ支那官憲ニ對シ強硬ナル交渉ヲ試ミシモ及響ナキニナラス寧一口官憲ハ暗ニ學生等ヲ援助スルノ情況ナルヲ以テ我在留民ハ茲ニ自衛ノ必要ヲ感シ組合ヲ設ケテ彼等排日學生ニ對抗スルノ策ヲ取リシカ十月十六

MT 3.3.8.8 4272

二、厦門方面

日邦貨運搬中ノ學生ノ為ニ取押ヘラルルマ茲ニ日支人ノ大衝突ヲ起シ互ニ發砲シテ格闘ヲナシ彼我共ニ死傷者數名アリ爾來形勢甚ク穩カナラス我居留民ハ軍艦ノ急派ヲ要望シテ二十日上海ヨリ軍艦嗟峨ヲ派遣セリ市街ハ武装兵ノ警備ニ依リ目下秩序ヲ維持シ日本人ハ外出ヲ謹ミツツアリテ對日感情ハ益々險惡ニ向エリ

MT 3.3.8.8 4273



開ヲ誘發ス等ノ名ノ下ニ排日精神ヲ注入スヘク
 戸別説明ヲナサシメツツアリ。厦門商人中ノ狡
 猾ナルモノ就中福建藥房ノ如キハ表面上極
 カ排日排貨ヲ提唱シ乍ラ裏面ニ於テハ日貨
 ヲ輸入シマーケットヲ変シテ政米品同様ノ價額ニ
 テ販賣シ高利ヲ台メツツアリト云フ
 從テ同地ニ於ケル排日排貨ハ特別情況ノ變化
 ナキ限リ表面的ニハ現ハレ来ラサルヘキニ厦門
 ヲ逐ハレテ奧地ニ侵入セシ排日團ハ益々其ノ暴
 威ヲ逞フシ漸次過激的トナリ各所ニ日貨檢
 査場ヲ設ケテ微細ノ日貨ト雖モ發見セハ直チ
 ニ之ヲ強奪燒却シ又小魚汽船戎克船舢舨
 ニ至ル迄隅ナク検査シ日貨ハ悉ク掠奪的ニ陸

MT 3.3.8.5 4274

上ケシ全部燒却スルノミナラス船員ノ所持品
 中ノ高價ナルモノハ(金ノ入齒及着衣ニ至ルモノ)之ヲ剝キ取
 リ全然海賊同様ノ行動ヲ働キ遂ニ凱歌ヲ擧
 ケテ妓樓ニ鯨飲馬食スルヲ常トシ又支那米ヲ
 台灣ニ輸出セントスルモノヲ發見セハ官憲ニ於テハ
 數千元ノ罰金ヲ船主ニ對シ要求スルモノアリ
 此等ノ官憲ハ排日學生團ニ加擔シテ學生ト共
 ニ日貨ノ検査ヲ嚴行シ日貨取引者並運搬
 人等ヲ苦シメツツアリ

MT 3.3.8.5 4275

三、汕頭方面

汕頭ニ於テモ尚ホ排貨熱冷却セズ船舶ノ發着毎
 ニ學生ハ海岸ニ出テテ日貨ノ輸入ニ就テ監視ヲ
 ナシツツアリ



上月八日鈴木洋行ヨリ支那商人ニ賣渡シテ運搬
中ノ燐石二十四箱(一箱六百打)ヲ奪ハレ又三井洋
行ヨリ汕頭電燈公司ニ賣渡シタル石炭百五十
噸ヲ同公司ノ倉庫ヨリ奪ハレ日本領事ヨリ交
渉中ナリトノ報アリ

四 廣東方面

廣東方面ニ亦排日空氣充滿マリ然レトモ今地ハ
政局上ノ影響ヲ受クル事一太ナルヲ以テ屢々之ニ
利用セラルル事アリ

上月八日警察廳カ日貨販賣店先施公司ニ於テ
暴行セラル學生十一名ヲ拘禁シタルニ學生團ハ拘留
學生ノ釋放ヲ迫リ且ツ警察廳長魏邦平ノ免
職ヲ請願中ナリシカ學生ハ釋放セラレタルモ魏ヲ

免職セラレサル為之ヲ実行スル迄同盟罷學ヲナス
ニ決シ高等師範學校以下三十八校ハ十九日ヨリ之ヲ
実施セルカ如キハ其一例ナリ

之ヲ要スルニ南支ニ於ケル排日熱ハ時日ノ経過ト共ニ冷
却シツアリシカ十月下旬ヨリ再燃シ最近再々險惡ノ
状ヲ呈スルモノアルニ至レリ元來今日排日ニ對シテハ
先ツ居留官民一致シテ強硬ナル自衛法ヲ講シ威力
アル陸海軍ハ之ニ密接ナル關係ヲ保持シテ聲援シ
一面相當ノ運動費ヲ支出シ新聞其他ヲ操縦シ又支
那官憲並ニ學生ノ後援者タル外人ヲシテ自省セシメ
眞面目ニ學生等ノ行動ヲ制壓シ以テ善隣ノ親
意ヲ披瀝セシムルト曰下ヲ急務ナリト信ス

發送先 前號ニ因シ

MP 3.3.8.8

4277

MP 3.3.8.5

4276